

第11回ジオ・フェスティバル in KUSHIRO に出展します。

1月8日(日)10:00~16:00に、釧路市遊学館で開催される標記イベントは、地球の不思議、楽しさなどを伝える実験や観察、研究発表をメインに子どもから大人まで楽しめるものとなっています。郷土資料館では、ジオ・研究ポスター展として「根室海峡から発見されたマンモスゾウ臼歯化石」を出展します。楽しいイベントもたくさんありますので、ぜひ、ご来館ください。

「加賀家文書歴史講座」のお知らせ！

日本遺産「鮭の聖地の物語」の主要構成文化財の一つである「加賀家文書」について、どのような史料でどんなことが書かれているのか、お話と館内展示解説をとおしてご紹介します。

- 日 時 令和5年1月28日(土)
午前10時~11時30分
- 場 所 別海町郷土資料館附属施設 加賀家文書館
- 内 容 お話「加賀家文書について」
見学「加賀家文書館展示解説」
- 募集人員 10名
- 申 込 令和5年1月27日(金)までに電話・FAX・
メールのいずれかでお名前、電話番号をご連絡く
ださい。



釧路市立博物館

企画展「湿原の王国・道東」のお知らせ！

北海道東部、釧路・根室地域には大小様々な湿原があります。

湿原とは？その成り立ちや種類など、道東の湿原をわかりやすく紹介します。

- 期 間 令和5年2月2日(木)~28日(火)
- 場 所 別海町図書館エントランスホール
図書館休館日
2月6日・11日・13日・14~19日(蔵書点
検のため)・20日・23日・27日



冬の季節の鳥たち～オジロワシ・オオワシ

寒い毎日が続き冬本番となりました。なかなか外で活動する機会も少ないかと思いますが、この時期のバードウォッチングは、葉や草がなく鳥が良く見えます。

なかでも大型のワシは、この時期北の方から渡ってくる代表的な鳥で、海岸に行くと比較的容易に見ることが出来ます。

このワシは、オジロワシ・オオワシで、冬になるとサハリンやカムチャッカなどから南下し、北海道に渡ってきます。(オジロワシの一部は北海道で繁殖し通年見られます。)翼を広げると2m50cmと大型で一目でわかります。

別海町では、野付湾や風連湖に多く見られ、冬期間実施している氷下待網漁の雑魚を目当てに集まってくるようです。その数500羽というワシの群れが見れるのは、別海町ならではの光景です。



オジロワシ(写真左)は体全体が茶褐色で尾が白く、オオワシ(写真右)は、黒色で型と羽が白い、嘴の色も違います。オオワシの方が一回り大きいです。

寄贈資料から「東和タイプライター」



このタイプライターは、昭和50年代から平成初期にかけて使用されたもので、町内在住の方から寄贈されました。文字盤なども豊富にあり、プロ仕様のものです。

寄贈された方は、このタイプライターで、町内外の記念誌等の制作を手懸けていました。

みなさんのたくさんの思い出が詰まった記念誌がこのように制作されていたことがわかる貴重な資料となります。

豊原分館に展示中ですので、来年の5月～10月に見る事ができます。

別海町郷土資料館だより No.282

発行日 令和5年1月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

コロナの規制が無くなり、令和4年の入館者は、例年通りに戻りつつあります。予断を許さない状況には変わり有りませんが、今年も多くの方にご来館いただきたいと思います。

郷土資料館の老朽化も著しく、その整備に向けた準備も着々と進めていきたいと考えています。